

# 防 災 係

## 1 災害対策

### (1) 訓練

- ア 福生市総合防災訓練  
令和元年台風第19号対応による影響のため中止
  
- イ 起震車体験訓練  
運用回数 12回（平日7回、土・日・祝祭日5回）  
運用先 自主防災組織2回、学校等5回、事業所等5回  
体験者数 延べ1,019人

### (2) 災害対策事業

- ア 防災啓発活動
  - (ア) 自主防災リーダー講習会  
講習日 令和元年6月22日（土）午前10時～11時30分  
場 所 防災食育センター  
受講者数 50人
  
  - (イ) ふっさ防災展  
開催日 令和2年1月17日（金）・18日（土）  
場 所 福生市プチギャラリー及び福生駅ペDESTリアンデッキ  
内 容 身近なものを利用した防災グッズ展示、家具転倒防止器具、住宅用火災警報器等の展示、子ども用ミニ消防服試着コーナー、災害用備蓄食糧の展示及び試食、ペDESTリアンデッキにおける煙体験及び初期消火体験など  
見学者数 延べ700人
  
  - (ウ) 自主防災組織による災害体験学習  
実施地区 25地区  
参加者数 755人  
内 容 防災学習センター等における施設見学や体験訓練など
  
  - (エ) 自主防災訓練の実施  
実施地区 29地区  
参加者数 延べ2,185人  
主な内容 初期消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練、防災資機材・軽可搬ポンプ操作訓練（点検を含む。）など

### イ 各自主防災倉庫主な配備品

品 名	各数量	品 名	各数量
毛布	15枚	投光機	1台
ポリタンク	1個	三脚（投光機用）	1台
応急救護セット	1セット	発電機	1台
骨折セット	1セット	ガソリン携行缶	1個
救急箱	1セット	ロープ（15m）	1巻

担架	4台	三角バケツ	10個
テント	1張	のこぎり	1本
ヘルメット	45個	オイルパン	2個
ハンドマイク	2台	メガホン (トランジスター型1個)	5個
移動式炊飯器	1台	のぼり旗	2本
防水シート	10枚	リヤカー (折り畳み式2台)	3台
スコップ	5本	バール	1本
コードリール	1巻	ラジオ付ライト	3個
強力ライト	3個	チェンソー	1台
ハンマー	3本	災害救助工具セット	2セット
つるはし	1本	消火栓スタンドパイプセット	1台
一輪車	1台	軽可搬式消防ポンプ ※	1台

※ 内出地区、武蔵野地区、福東地区、熊川牛浜地区、牛浜第一地区、原ヶ谷戸地区、志茂第二地区、本町第七地区、本町第八第一地区、本町第八第二地区、永田地区、長沢地区、加美地区 計13地区

ウ 市内備蓄倉庫主な応急対策資器材・物資備蓄品

品名	各数量	品名	各数量	品名	各数量
サバイバルフーズ	37,320食	エアテント	2台	鋼板	35枚
アルファ米	49,650食	担架	93台	防水シート	725枚
ライスクッキー	3,840食	毛布	7,495枚	ロープ	400m
保存用乾燥おかゆ	6,950食	災害用簡易ベッド	56台	スコップ	136本
クラッカー	9,730食	折り畳み式寝具	63台	つるはし	100本
災害備蓄用パン	9,792食	エアマット	1,000枚	掛矢	36本
薄焼きビスケット	9,120食	ござ	600枚	折り込み鋸	10本
ショートブレッド	9,900食	応急医療セット	5セット	ハンマー	9本
飲料水(500ml)	9,288本	包帯	350巻	斧	10本
粉ミルク	88,000g	脱脂綿	200包	ジョレン	144本
スプーン	1,000本	マスク	4,250枚	チェンソー	10台
おぼん	500個	簡易トイレ	158台	パイル	300本
おわん	3,000個	ワンタッチトイレ	20台	投光器及び三脚	26台
コップ	3,000個	マンホール式トイレ	21台	強力ライト	70個
哺乳ビン	570本	非常用糞尿処理セット	9,600回分	防水ライト	50個
哺乳ビン用乳首	670個	トイレットペーパー	2,520巻	安全キャンドル	60個
ポリタンク	20個	雨具	20セット	補給用ろうペレット	60個
折畳式ウォータータンク	40個	鉄火鉢	46台	発電機	26台
ウォーターパッカー	2台	固形燃料	158個	ガソリン携行缶	22台
メガホン	100個	ハンドル充電式ラジオ	57個	コードリール	20台
ハンドマイク	16台	土嚢袋	2,250枚		
テント	36張	土嚢用止め杭	1,200本		
簡易更衣室用テント	18張	木杭	19本		

エ 各避難所倉庫主な配備品内訳

品名	各数量	品名	各数量
クラッカー・薄焼きビスケット	590食	炊き出し釜	1台
簡易トイレ	2台	鉄火鉢	2台
防水シート(ブルーシート)	12枚	固形燃料	8個
投光機及び三脚	1台	ポリタンク	2個

発電機	1台	ハンドル充電式ラジオ	1個
ガソリン携行缶	1個	安全キャンドル	3個
テント	1張	補給用ろうペレット	3個
担架	2台	メガホン	5個
マスク	480枚	のぼり旗(避難所)	1枚
セルフケアセット	2セット	バルーン投光機	1台
簡易更衣室用テント	1台	カセットガスボンベ式発電機	1台

オ 初期消火体制整備

街頭設置消火器及び格納箱の新旧取替えを実施した。

## 2 消防活動

### (1) 常備消防(福生消防署)

福生市、羽村市、瑞穂町の2市1町を管轄区域として、本署と3出張所に総員199名の署員と消防ポンプ車5台、非常用ポンプ車2台、特殊災害対策車1台、化学車1台、はしご車1台、救急車4台、非常用救急車1台、指揮隊車1台、査察広報車4台及び人員輸送車1台からなる陣容で消防活動、予防行政の執行等に従事している。

出場状況(管轄区域)

(単位:件)

火災	非火災	水災	救急	救助	危険排除	緊急確認	合計	前年度合計
48	30	2	7,434	311	68	70	7,963	8,020

### (2) 非常備消防(福生市消防団)

市内にある5個分団からなる消防団組織(団員186人。消防ポンプ車5台及び指揮車1台を保有)により、消防活動を実施している。

#### ア 消防団組織

団 長 — 副団長 (1人) (4人)	第一分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (19人)
	第二分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第三分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (17人)
	第四分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (20人)
	第五分団長 — 副分団長 — 部長 — 班長 — 団員 (1人) (2人) (3人) (9人) (19人)
本部付団員 (6人) 女性団員 (5人)	

#### イ 配置車両

分団名	車両ナンバー	車 両 の 種 類	車両購入年月日
団本部	八王子 800 さ6574	普通自動車「ワゴンタイプ」(日産)	平成15年9月
第一分団	八王子 830 さ2301	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成26年1月
第二分団	八王子 830 さ2302	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成25年1月
第三分団	八王子 830 さ2303	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成27年2月
第四分団	八王子 830 さ2304	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成24年2月
第五分団	八王子 830 さ2305	普通消防ポンプ自動車(いすゞ)	平成27年2月

#### ウ 年齢別団員数

(単位:人)

年齢	18~20歳	21~25歳	26~30歳	31~35歳	36~40歳	41~45歳	46~50歳	51歳以上
団員数	7	40	45	46	27	15	4	2

エ 在職年数別団員数

在職年数 団員数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
186	78	42	41	14	8	2	1

オ 退団・入団員数

(単位：人)

区 分	平成31年4月1日現在	退団者	入団者	階級異動	令和2年4月1日現在
本 部	5				5
本部付団員	6	2	2		6
女性団員	0		5		5
第一分団	30	4	8		34
第二分団	35	6	6		35
第三分団	35	5	2		32
第四分団	35	6	6		35
第五分団	35	4	3		34
合 計	181	27	32		186

カ 消防団員火災出動状況

火災発生件数(件)	出 動 回 数 (件)	延べ出動団員数 (人)	平均出動団員数(人)
14	11	980	89.1

キ 消防団出動状況 (風水害等)

延べ出動団員(人)	出 動 回 数 (回)
403	4

ク 消防団警戒等特別出動状況

警 戒 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
祭 礼 警 戒	150	2
七 夕 警 戒	463	4
歳 末 警 戒	298	5
そ の 他 の 警 戒	127	5
合 計	1,038	16
前 年 度 合 計	1,049	18

ケ 消防団各種訓練(消防)

訓 練 名	延べ出動団員数(人)	出動回数(回)
火 災 防 御 訓 練	550	8
ポ ン プ 操 法 訓 練	5,277	75
機 関 訓 練	1,465	58
規 律 ・ 礼 式 訓 練	233	9
教 育 訓 練	835	47
住 民 指 導	196	13
合 計	8,556	210
前 年 度 合 計	7,428	191

コ 消防団各種訓練（災害）

訓練名	延べ出動団員数（人）	出動回数（回）
教育訓練	0	0
住民指導	0	0
合計	0	0
前年度合計	129	1

※令和元年度は総合防災訓練の中止に伴い訓練の実施はなかった。

サ ポンプ操法審査会（第 67 回）

審査会は、消防ポンプ操法の基本を身につけ、指揮者と団員との連携を訓練し、もって団員の士気向上を図り、火災防御活動の迅速かつ確実な実施及び火災による生命・財産の損害の防止を目的に実施している。なお、令和元年度は手びろめによるホース延長操法を実施した。

令和元年度	手びろめによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第二分団	第三分団	第五分団
チーム成績	第二分団 B	第二分団 A	第三分団 B
前年度	ホースカーによるホース延長操法		
	優勝	第 2 位	第 3 位
総合成績	第三分団	第五分団	第四分団
チーム成績	第二分団 B	第四分団 B	第五分団 B

(3) 火災の状況

ア 区分別火災発生件数

区分	建物			車両 (件)	その他 (件)	合計 (件)	※ 焼失面積 (㎡)	非火災 (件)	消防団 出動回数 (回)
	全焼 (件)	半焼※ (件)	ぼや (件)						
令和元年度	1	0	9	1	3	14	94 (0)	6	11
前年度	1	3	6	0	6	16	247 (4)	6	11

※半焼は、部分焼を含む。

※焼失面積は焼失床面積、（ ）内は天井、壁等の焼失表面積

イ 原因別火災件数

(単位：件)

原因		放火 (疑い含む。)	たばこ	ストーブ	ガスコンロ等	火遊び	その他	合計
件数	令和元年度	1	2	0	4	0	7	14
	前年度	3	3	0	4	0	6	16

(4) 消防水利施設

ア 水利

(単位：基、箇所)

消火栓		合計	防火水槽			貯水槽		合計	プール
150mm未満	150mm以上		20 m <sup>3</sup> 未満	20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	100 m <sup>3</sup> 以上		
466	157	623	29 (0)	5 (0)	94 (87)	18 (18)	21 (21)	167 (126)	16

( ) は、耐震性防火水槽・貯水槽で内数

イ 消火栓新設、移設及び補修箇所

移設箇所 10 箇所 補修箇所 12 箇所